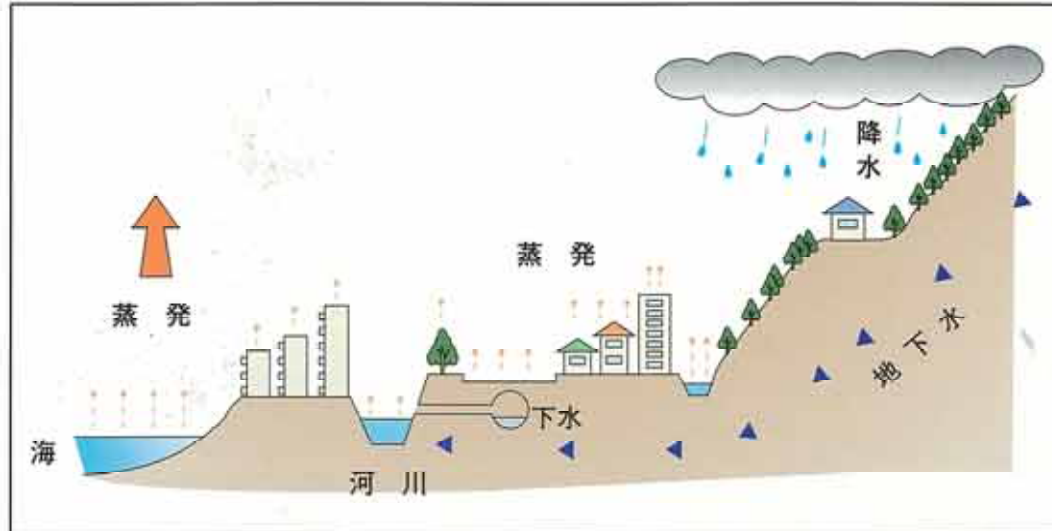


わたしたちの生活を取りまく水の流れ

わたしたちの生活に欠かすことのできない水は、自然の水循環サイクルのはたらきにより、大雨が降っても洪水が起こりにくいしくみになっていましたが、最近の都市化により畑や林などが宅地やアスファルトの道路に変わり、雨水が地中にしみ込む面積が少なくなってしまいました。そのため、地表を流れる水の量が増して川や排水管に集中して、大きな雨が降ったときには、水害が発生する心配があります。

みずじゆんかん 水循環サイクル模式図



東京都の総合治水対策の用語説明

防災調節池 (ぼうさいちょうせつち)

住宅団地をつくるなどの開発を行うときに、雨水をためて水害を防ぐための池。

雨水調整池 (うすいちょうせいち)

雨水がいききに川に流れださないように一時ためておく下水道の施設。

多目的調節池 (たもくてきちょうせつち)

川の水をためるだけでなく、調節池の敷地を公園や学校など多くの目的に利用する池。

各戸貯留浸透 (かっこちりゅうしんとう)

各家で雨水をためる工夫をしたり、浸透ますをつくって雨水を地下にしみ込ませたりすること。

市街化調整区域の保全

(しかいかちょうせいいきのほぜん)
急激な市街化をおさえ、水が浸透しやすい畑や草地などをそのまま残すこと。

盛土抑制・調整 (もりどよくせい・ちょうせい)

雨水がたまるくぼ地などに土を盛ることをやめ、雨水がいききに川に流れださないようにすること。

高床式建築 (たかゆかしきけんちく)

水害の多い地域などで、建物の床を高くして浸水にそなえるようにした建物。

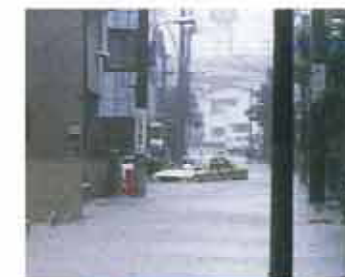
東京都総合治水対策協議会

お問い合わせ先

東京都 都市計画局 施設計画部 施設計画課 TEL03(5388)3298
東京都 建設局 河川部 計画課 TEL03(5320)5415
東京都 下水道局 計画部 総合計画課 TEL03(5320)6595

総合治水

～水害のないまちづくり～



東京都総合治水対策協議会

●ビルや家がたくさん建ったので水害がたびたび起きるようになりました。

○開発が進む前



○開発が進んだ後



東京都の総合治水対策

雨がいきなり川に流れださないよう、安全でうるおいのあるまちづくりを進めています。いま東京でたびたび起きている水害は、むかし、畑や林などだったところに家が建ち、アスファルトの道路ができて地面をおおったため、雨が一度に川へ流れこむのがおもな原因です。このような水害を防ぐため、河川の改修や下水道の整備のほか、雨水を一時的にためたり、地下にしみこませたりする取り組みを含めて「総合治水対策」といいます。

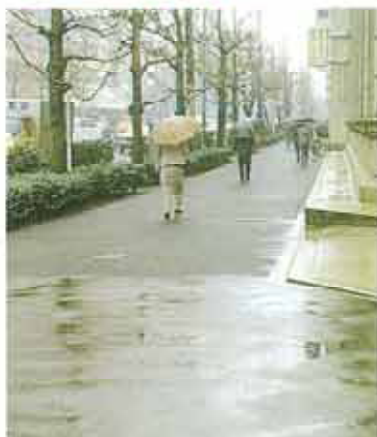
●みなさんと力を合わせて、東京をもっと安全なまちに…。



●水害が起きないように、いろいろな取り組みが行われています。



透水性タイル舗装
●雨水を地面にしみこませる工夫のされたタイルをいいます。



透水性舗装
●雨水をそのまま地面にしみこませる舗装です。手前がふつうの舗装です。



棟間貯留 (足立区)
●アパートやビルなどのあいだを少し低くほって、雨水をためておく工夫をしています。



河川改修前 (野川・新小金井街道付近)
河川改修
●川の幅を拡げたり、深くしたりして、川に水がたくさん流れるようにすることです。



河川改修後 (野川・新小金井街道付近)

南元町雨水調整池 (新宿区)

●雨水を一時的にためておく下水道の施設です。



環七地下河川 (杉並区)

●環状7号線の地下に川をつくって、雨水を海に直接流そうとするものです。



砂正寺第一調節池 (中野区・新宿区)

●住宅、公園、調節池が一緒になった施設です。

